

九州の学び新聞

2024年7月17日
田中学園立命館
慶祥小学校
五年二組
山崎由活

卑弥呼様の可能性

日本には数多く移籍が残されている。その中でも、卑弥呼がいたといわれる吉野ケ里遺跡。この遺跡には、たくさんの工夫がある。例えば、外敵侵入対策だ。外部の者が入ってこぬよう、

者が住む家があるからだ。ここには、位の高い者しか住んでいない。そのほかの民は、ここに近い違う場所に住んでいるのだ。作物などを運ぶ染め物方法など、（人々が）かつて生活などに使っていた物や、外で見ることが出来る展示を具体的に図などで表された物が展示されている。また、遺跡内の施設で、縄文時代の人々のお守り・勾玉作り体験

験などの体験ができる。この体験は、石のブロックから、削っていき、最後に鍔をかけて磨くという最初から最後まで勾玉づくりを体験することが出来る。もちろん、先生のサポートはある。そんな見どころ沢山の吉野ケ里遺跡に、ぜひ行ってみたいと思うだろうか。

工夫だらけ、熊本城



熊本城・本城最近完治された、熊本県のシンボル。

熊本城は、今から約四二〇年前に建設された。建設したのは、加藤清正公だ。加藤清正公は、一五六〇年ごろに生まれ、50歳ごろにこ

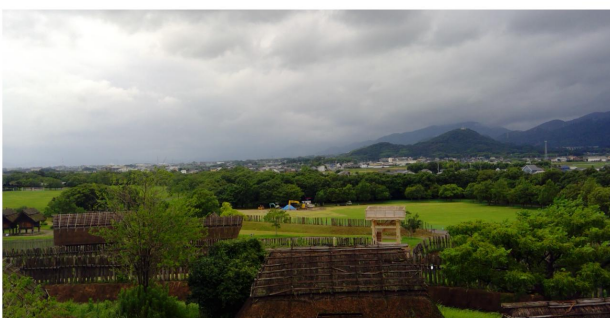
の城を建てた。清正公は、とても心配症であった故、熊本城を丈夫に建てた。例えば城の石垣だ。形・大きさなどが似ているものを使

い、全体の形も美しくなっている。なので、一度も落城したことはなかったというので、よほど頑丈に作っていたのだ。だが、熊本城が、頑丈で大きいだけの城だというわけではない。城を建設した場所も工夫しているのだ。これは熊本城のガイドの方によると、東西南北の中、三方が崖と川のため、攻め込みにくく、川があると、船で物運ぶことができる大きな利点があるそうだ。このように加藤清正公は、城の位置にも工夫をしていたことが分かるのだ。そんな熊本城だが、最近城が直されて綺麗に新しくなっている。ぜひ、新しい熊本城へこの機会に行ってみてはどうだろう。

九州の特色

九州のイベント情報

上の記事では九州の限られた施設を紹介してきた。だから



縄文の人々が住んでいた遺跡。ここから出来事が開始

九州の遺跡・吉野ケ里



大人（だいじん）などの国の偉い者が住んでいた場所ここに他の国民は住んでいない。

高度経済成長期の病

1955年頃から1973年頃水俣市である病が流行した。それは、水俣病だ。これはあることがきっかけで始まった。この頃経済が成長しており、世間からは、「高度経済成長期」と呼ばれていた。よって工場などが全国に広がっていった。そして暮らしは豊かになったが、工場から海へ排水される有害物質が混じった水で少しずつ、海が汚染されていった。そして、その成分を魚が食べ、その魚が食卓へと出回った。これをたくさん



患者の方が半年で使用した薬。（実際五倍の量）

食べて、有害物質が溜まり水銀に神経をやられてしまった。でも最初は、水俣病というデータがなかった。で、同じような症状のてんかんとされていた。が、症状を持つ人がみるみる増えてきて、猫に水俣の魚をあげる実験が行われた。するとその猫は、みるみる体調が悪くなった。よってやっと水銀が鯨鯨で起きた中毒だといわれるようになった。今でもこの症状がある水俣病患者の方は多くいる。その方々の辛さは本人しかわからないが、この病を忘れないで過ごして行きたいと思っている。

牛が選んだ天満宮

「天満宮」は学問の神様として名高い菅原道真を祭る神社のことだ。その中でも、道真が亡くなった場所にある太宰府天満宮。なぜ亡くなったところが太宰府な

のか。もともと太宰府天満宮の場所が道真が住んでいたところなのか。実は、ここは牛舎が止まったところなのだ。道真は昔から牛が好きで、自分が死んだら牛

舎に引かせて、牛が止まったところに埋葬してほしいとおっしゃったそう。うして道真が死んだ後同じようにやったら、牛がしばらくしてうずくまった。ここが太宰府天満宮になったのだ。なので天満宮内には、何匹か牛の像があつて、その頭をなでると知恵

を授その頭をなでると知恵を授かることができるという。他にも天満宮内には過去の橋・現在の橋・未来の橋という橋がありそれぞれわたるときのルールがあったりし、まさに知識がないといけない所も限定のお土産やおみくじもあるので、ぜひ行ってみたい。

編集後記

私は今回の記事につながりが見える。どういふものかというところまず縄文時代・弥生時代吉野ケ里遺跡の時代だ。そのあと広がるのは、鎌倉時代・室町時代・江戸時代がだいたい熊本城・太宰府天満宮に当たる。その

あと一九〇〇年代高度経済成長期で水俣病。そして二千年九州国立博物館、開館。このようにすべてがつながっているように感じだ。また、これらの事を深く掘り下げていくと物事が年だけ入ってくるというに驚いた。熊本城はこれからすべて直るであろうし、これらの事は未来でどう変化するのかが楽しみだ。

山が映る博物館

九州にある国立博物館、九州国立博物館だ。この博物館は全面がガラス張りになっていて見た目がとても美しく、青い空と、緑の山が映っているのだ。場所は福岡県にある。内装は、一階にあじっぱというアジアが絡んだエリアがあって、二回には、縄文時代の土器や、焼き物の皿・着物などが展示されており、他の地域の資料や物も展示されていた。展示物の説明もわかりやすく書かれていて展示物の量が多い。この文で興味がわいたらぜひ行ってほしい。